

**社会福祉法人興部町社会福祉協議会**  
**平成 28 年度 第 1 回評議員議事録**

1. 開催通知年月日           平成 28 年 5 月 18 日（水）
2. 開催日時及び場所  
（1）日           時           平成 28 年 5 月 27 日（金）午後 1 時 30 分  
（2）場           所           興部町福祉保健総合センター「きらり」・会議室
3. 評議員現員数  
33 名   （平成 28 年 5 月 27 日現在）
4. 出席評議員数・監事及び氏名  
（1）出席評議員数   22 名出席  
（2）氏           名  
    ■評議員  
        工藤喜代子、大石彰、菅原良子、山本典子、五十嵐宏美、中野奈緒美、工藤はるみ、平塚衛、渡辺義克、坂本弘道、箭原寛幸、  
        川上孝征、原田富士雄、木下秀昭、高原直、上出憲吉、佐藤克宏、奥田賢臣、町田信一、清野厚德、木村秀文、大池譲、  
  
    ■監 事  
        岩井 正
5. 来    賓           興部町福祉保健課長 堺井敏明、 興部町介護支援課長 松田 仁
6. 出席理事・職員数及び役職氏名  
（1）理事    4 名  
        会長 櫻木トモ枝、副会長 矢野政一、副会長 有坂廣光、常務理事 大内善雄  
（2）職員    4 名  
        事務局長 高橋幸大、通所介護事業管理者 瀬川真奈実、訪問介護事業管理者 増田留子、総務主任 卯城美保
7. 付議事項  
承認第 1 号   社会福祉法人興部町社会福祉協議会平成 27 年度事業報告について  
承認第 2 号   社会福祉法人興部町社会福祉協議会平成 27 年度収支決算について  
選任第 1 号   理事の選任について

事務局長 ～ 本日は何かとお忙しいところご案内の評議員会にご出席をいただき誠にありがとうございます。はじめに平成28年4月からの任期で評議員に就任いただきました皆様へ委嘱状の交付を行ないます。

( 櫻木会長より 各評議員へ 委嘱状の交付 )

事務局長 ～ それでは本日の会議の成立についてご報告申し上げます。本日の評議員出席人数22名、定款第15条第7項の規定に基づきまして本日の評議員会は成立いたします。それでは、これより平成28年度第1回評議員会を開催いたします。会議開催にあたりまして櫻木会長よりご挨拶を申し上げます。

櫻木会長 ～ 皆さん、こんにちは。毎日天気も良く、新緑の香りに心が和む季節となりました。皆様方には日頃よりご協力いただいておりますことに心よりお礼を申し上げます。本日は皆様方には何かとお忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。また、堺井課長、松田課長さんにはご多忙中にも関わらず、ご臨席くださいますありがとうございます。先日、管内の社協の総会がございまして、社会福祉法の改正案が提出され4月1日から施行された旨の報告がありました。改正法の具体的な運用につきましては7月以降に発出される政省令、通知等に委ねられるものが多いため、全社協の動きとも連動しながら、詳細が明らかになり次第、町村社協への情報提供および支援を行うということでございます。今はっきりしていることは、今ほど評議員の皆様方には委嘱状をお渡し致しましたが、平成29年3月31日までに新評議員さんを公平な選任委員会等の議決により選任する方向性が示されておりますので、このまま話が進みますと平成29年3月31日をもって任期が終わりになる可能性が高いことをご理解いただきたくお願いを申し上げます。平成27年度の社協の事業もデイサービスまた在宅事業では冬場の利用者減となりましたが、他は大きな問題も無く、皆様方の温かいご協力のもと、全ての事業を終えることができ、ここに事業報告、収支決算をご報告できますことに厚く御礼を申し上げます。今日ご提案します案件は3案件でございます。詳細につきましては各担当職員より説明を申し上げ、皆様方の質問に対しましても答弁して下さいますので、どうぞ建設的な意見を出していただきご審議ご決定くださいますようお願いを申し上げまして挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

事務局長 ～ それでは会議次第の3. 議長の選任ですが、会議の議長が決まりますまで、社会福祉協議会 櫻木会長が仮議長を務めて参ります。それでは会長よろしく願いいたします。

櫻木仮会長 ～ それではですね、議長が決まりますまで、私が進行を務めさせていただきます。議長を選出するわけでございますが、どのような方法で選出したらよろしいでしょうか。皆様方のご意見をいただきたいと思っております。

上出評議員 ～ 会長に一任。

櫻木仮議長 ～ ありがとうございます。只今、会長に一任とのご意見がございましたが私から指名することによろしいですか。

評議員一同 ～ はい。

櫻木仮議長 ～ それではご指名させていただきます。本日の評議員会の議長に大池 譲さんを指名します。どうぞ議長席までお越しください。よろしく願います。

議長 ～ 只今、議長に選任されました大池です。不慣れではございますが、皆様のご協力をいただきながら会議を進めて参りますので、温かいご協力をよろしくお願い致します。それでは会議次第4の「議事録署名人の選任」ですが、私から指名させていただきますいてもよろしいですか。

評議員一同 ～ はい。

議長 ～ それでは私からご指名をさせていただきます。本日の評議員会の議事録署名人には渡辺義克さん、中野奈緒美さんをお願いを申し上げます。後日、事務局にて議事録を作成しますので、ご確認の上、署名・捺印をお願いいたします。

それでは会議次第5. 議案審議に入ります。承認第1号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会平成27年度事業報告について」を議題といたします。提案者の説明を求めます。事務局より説明してください。

事務局長 ～ 説明に入ります前に、3月22日に行なわれました評議員会におきまして社会福祉協議会の各種規程、規則について配布を求めるご要望とご意見がありました件について少し時間を頂戴いたしまして説明をさせていただきたいと思います。櫻木会

長とのご相談をいたしまして、各種規程、規則について改正が行なわれるごとに新たな規則・規程の配布または差替え作業を行うに当たり、それらの差替えミス等も考えられ、評議員の皆様にも適切な資料提供が難しいことと、事後管理のリスクを伴うことも想定されますので、社会福祉協議会の事務所に閲覧できるファイルを設置いたしまして、そこでご覧いただけるようにお願いしたいと思います。なお、ご希望があれば該当する規則等のコピーなどの要望にはお応えしたいと考えておりますのでよろしくお願ひ致します。また、この今年度より興部町社会福祉協議会のホームページが出来上がりました。近い時期にこれらの社協の規則・規定についてもホームページにおいて公開できるように準備を進めて参りたいと思っております。それでは承認第1号の説明に入らせていただきます。

承認第1号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会 平成27年度事業報告について」説明いたします。別紙1の平成27年度事業報告の1ページをご覧ください。平成27年度興部町社会福祉協議会事業実施報告。1. 社協運営です。会務の開催状況と致しまして、三役会議については計5回の開催であります。常任理事会は5回の開催でございます。理事会については6回の開催でした。評議員会については年4回の開催でございました。続きまして、5ページまでお進みください。戦没者遺族対策事業、興部町との連携事業でございます。興部神社の忠魂碑管理を行いまして、7月15日に実施の戦没者追悼式におきましては参拝者3名となつてございました。次に④葬儀支援サービスです。会葬礼状の発行におきましては32件のご利用があり、延べ12,010枚の会葬礼状発行でございました。次、⑤社協広報事業では社協は年12回発行、全戸配布を行なっております。大きな2番、地域福祉活動推進、①自治会福祉活動事業です。7月17日、11月6日の年2回の福祉委員会議を実施してございます。また自治会長のご理解のもと、福祉委員による地域の声かけ見守り訪問を年2回ご協力いただきました。

地域福祉活動のたすけ合い活動として、高齢者のふれあい交流事業などの事業に対し、26自治会に活動助成を行いました。6ページです。②福祉活動助成事業として、遺族会計12,000円、老人クラブ連合会80,000円、身障協40,000円、母子寡婦会40,000円の助成でございます。③福祉学習事業です。興部中学校において高齢者疑似体験、デイサービスについての講義など実施。紋別高等看護学院では2つの講義を行なっております。沙留中学校においては高齢者疑似体験セットの貸出調整による協力を行いました。次、④歳末たすけあい事業の「年末おせち料理配布事業」を12月31日に実施し、70歳以上の一人暮らし、80歳以上の夫婦世帯、合計で103名の方におせち料理をお届けしております。7ページに参ります。ボランティアセンター運営事業、(2) ボランティア団体助成として、配食ボランティアつくしんぼうへ70,000円と研修費追加分20,000円、計90,000円の助成を行いました。(6) ボランティア活動受け入れ、側面支援として、生活支援ハウスの絵本の読み聞かせボランティア活動を月1回実施いただいたところでございます。②ボランティアスクール事業(1) 災害サポートフェスタでは9月1日、興部町で実施の防災訓練に支援ハウスの入居者8名が避難訓練に参加させていただきました。8ページに参ります。大きな5番、在宅福祉サービス、①給食サービス事業です。毎週木曜日の夕食を65歳以上の方で健康管理や安否確認などを必要とする世帯へお届けし、ボランティアつくしんぼうの協力をいただきながら年52回を実施いたしました。延べ629名のご利用をいただき、28年3月時点では1回あたり18名のご利用があるところでございます。次、②在宅ライフサポート事業です。在宅で介護を受けられている方、要介護2以上の方に対して、介護パンツ、パッド支給を行い、延べ51名のご利用をいただきました。大きな6番、受託事業、①高齢者等除雪サービス事業では自治会のご協力のもと、除雪が困難な世帯、計62世帯に除雪の支援協力をいただいております。次、9ページ参ります。③日常生活自立支援事業です。判断能力の低下などの理由により生活費の管理や各種手続きを行う事業で、利用件数は3件でございました。社協運営の説明は以上です。続いてデイサービス事業に移ります。

通所管理者 ～ 9ページをご覧ください。7番デイサービス事業です。平成26年度からは指定管理事業として運営をしておるものでございます。デイサービスの営業日やサービス提供時間は記載の通りとなっており、年間の利用者数は介護保険適用の方が実人数で554名となっております。行事と致しまして、5月に、お花見バスハイクとして興部神社や宮下町の桜、モーモー城のスイセン畑を見学しております。9月には毎年恒例となりました「デイ祭り」を開催し、サポートの会の皆様のご協力も得ながら余興として町内の各サークルや「モエレプラスアンサンブル」のみなさまのご協力のもと「三味線」「大正琴」「金管演奏」を披露していただき大盛況のうちに終了いたしました。同じく10月には文化祭への作品出展として興部町の夏祭りの花火の様子を広告紙にて作成し公民館へ作品鑑賞に出掛けております。こちらの作品は月刊デイという雑誌にて入賞し、初めての事に利用者の皆様も大変喜ばれていたのが印象的でした。誕生会は3か月ごとに行ない、デイサービスの機関紙「ホット☆デイ☆ホット」も利用者様やご家族に年6回発行し、日頃の様子を知っていただく内容を掲載しております。興部中学校の福祉学習として職員が学校にて授業を行ない、レクや歌での関わりを通して色々なふれあいを行なった事も利用者様が楽しみにされている事業のひとつとなっております。デイサービスでの27年度の畑作りでは野菜作りの得意な利用者様のご指導のもと枝豆やズッキーニの栽培を行ない、おやつ時間に枝豆を調理をして食べていただきました。毎年目標として掲げております「地域に根差したデイサービス」に少しずつではございますが前進して参ってきたと感じているところでございます。以上でデイサービス部門の事業報告を終わりますが、別紙2の介護サービス実績報告にデイサービスの利用状況の記載をしておりますので目通しいただければと思います。

訪問管理者 ～ 続きまして10 ページ8 番、ホームヘルプサービス事業です。年間の利用者数は介護保険適用の方が実人数で384 名となっております。営業日は記載の通りとなっております。その方に応じた入浴介助、排せつ介助等の身体介護のほか調理や掃除、洗濯、買い物等の生活援助を行っております。利用者様が安心して暮らすことができるよう身体介護技術や調理実習等の内部研修も行いながら、職員のスキルアップ向上を目指しております。また、昨年度末には職員1 名が介護福祉士の国家試験を合格をしたことからヘルパーステーションの正規職員全員が介護福祉士資格取得者となりましたことをご報告させていただきます。なお、別紙2 のほうに2 7 年度の訪問介護の実績を付けておりますのでお時間のある時にお目通しをお願いいたします。以上でホームヘルプヘルプサービス事業の報告とさせていただきます。

続きまして9 番、障害者自立支援事業です。こちらの営業日も記載の通りとなっております。障害者自立支援事業と致しましては、利用者様0 名となっておりますが、昨年度、喀痰吸引研修を修了し認定を受けた職員がおりますことから登録特定行為事業者の申請をして提供体制を整えたところでございます。簡単ではございますが、以上で自立支援事業の報告とさせていただきます。

続きまして11 ページ10 番、高齢者生活支援ハウス事業です。こちらは365 日24 時間体制で必要時の援助を提供するので、コール対応のほか訪問診療、受診対応なども定期的に行なっております。また皆さんが楽しんで頂けるようにと、月に1 度のお楽しみ会では紋別へのお買いものツアー、焼き肉パーティー、夏祭り見学や花火大会、クリスマス会や新年会とたくさんの行事を行っております。ゲームや工作などは担当職員がそれぞれ工夫を凝らして、考えながら皆さんと楽しんで行っております。信金職員によるボランティアのお手伝いも年に数回あり、皆さんともすっかり顔なじみになれたところで、生活支援ハウスでの生活が安心して、楽しく暮らしていければと考えております。また、生活支援ハウス通信も3 か月に一度発行しており、皆さんの日頃の様子をご家族に知って頂きたいとお届けしています。資料に記載はございませんが、入居者20 名のうち介護保険適用で援助を受けられて生活されている方は13 名となっており、その内、起床、就寝介助などの身体援助を受けられている方は2 名となっております。介護度と致しましては要支援2 の方が1 名、介護度1 が7 名、介護度2 が4 名、介護度3 が1 名となっております。以上で生活支援ハウスの事業報告とさせていただきます。

議 長 ～ 承認第1 号の説明が終わりました。これより質疑に入ります。何か質疑ございませんか。

評議員一同 ～ 異議ありません。

議 長 ～ 異議なしと認め討論を終結します。それでは承認第1 号の採決を行ないます。承認第1 号について原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

評議員一同 ～ （ 挙 手 ）

議 長 ～ 評議員総数の過半数の賛成を確認いたしました。よって承認第1 号は原案のとおり可決されました。続きまして、承認第2 号「社会福祉法人興部町社会福祉協議会平成27 年度収支決算について」を議題とします。提案者の説明を求めます。事務局より説明をしてください。

総務主任 ～ それでは、別紙3 と書かれた平成27 年度収支決算の資料をご覧ください。資金収支計算書に沿ってご説明いたしますが、こちらの差異欄の記載については平成23 年、厚生労働省による社会福祉法人会計基準の導入を受け、平成25 年度からこの新会計基準に基づき全道社会福祉協議会の定めた社会福祉法人モデル経理規程に定める様式第1 号資金収支計算書に基づき、収支ともに予算額 (A) マイナス決算額 (B) の表記へ変更しております。若干見づらい場合もございますが、ご了承をお願い出来ればと思います。また、予算額 (A) に記載しております予算つきましては、3 月の補正を含む最終予算額で記載しております。なお、勘定科目欄の縦の左から3 列目の内、各科目の群の1 番上、左側の線のすぐ横に記載されているものがその科目群の合計となっております。記載はございませんが、説明の中では「大科目」として説明させていただきます。3 列目の科目群の内、2 段目以降、左の線から余白をはさんで記載されている科目については「内訳」として説明させていただきます。1 ページから3 ページまでは法人全体での収支決算額となります。1 ページをご覧ください。まず大科目の一番上、会費収入です。こちらは予算199 万3 千円に対し、206 万7 千円の決算額となりました。内訳と致しましては個人会費収入163 万8 千円、法人会費収入12 万5 千円、特別会費収入27 万4 千円、団体会費収入3 万円となります。続いて、大科目寄付金収入です。こちらは経常経費寄付金として69 件のご寄付をいただき、決算額287 万3,549 円となっております。69 件のうち、訪問介護事業で2 件、通所介護事業、生活支援ハウス事業でそれぞれ1 件のご寄付をいただいております。経常経費補助金収入については予算額5,626 万7 千円に対し、決算額5,626 万7,182 円となりました。こちらの内訳といたしましては、法人運営事業、通所介護事業、生活支援ハウス事業への市町村補助金と、法人運営事業への共同募金配分金収入となります。受託金収入といたしましては、受託事業区分で受けております。除雪サービス事業に係る町助成金及び、生活福祉資金貸付事業、日常生活自立支援事業に係る北海道社会福祉協議会からの事業受託金となります。続いて貸付事業収入については本年度の貸付金実績10 万円に対し、償還のありました7 万円の計上となります。事業収入については法人運営区分で実施しております給食サービス事業、在宅ライフサポート事業、歳末おせち料理事業の利用料となります。こちらは決算額25 万4 千円となります。介護保険事業収入については、訪問介護事業、通所介護事業の事業収入となります。北海道国

保連合会からの介護報酬収入それから利用者様からの利用者負担金収入を合わせまして4,422万6千円の決算額となりました。次の大科目、老人福祉事業収入については生活支援ハウス事業の事業収入となります。支援ハウス利用料、支援ハウス指定管理事業の一環として行っております町の介護保険制度外のショートステイ事業の利用料収入を合わせまして、決算額1,245万9,041円となりました。受取利息配当金収入については積立金利息と通帳決算利息を合わせ9,313円、その他の収入については法人運営事業における紋別看護学院への講師派遣、通所介護事業における介護等体験実習の受け入れ収入を合わせ、4万6千180円となりました。以上の収入を合わせ、中段に記載の事業活動収入計については、1億1,936万2,413円の決算額となりました。

続いて支出の部に移ります。大科目、人件費支出全体で、決算額9,332万9,368円となりました。予算額に対し77万6,632円の増となっております。こちらにつきましては4月の介護報酬改正に伴い、処遇改善加算に係る率の変更があり、この増額分についても、処遇改善加算の制度に基づき職員賞与、非常勤職員賞与として職員に支給を行ったところであります。次の大科目、事業費支出については決算額1,236万3,435円となりました。内訳といたしましては給食費支出から2ページ記載の食糧費までとなります。1ページの車両費については27年度内のガソリン単価の値下がり、備えとして見ておりました車輛小破修繕費について、故障等の減少により予算よりも減額となったものです。また、2ページに記載の業務委託費につきましては、法人事業の給食サービス事業において、年度中旬の利用者減少に伴う調理業務委託費の減額がございました。次の大科目、事務費支出については決算額678万4,994円となりました。内訳は福利厚生費から雑支出までとなります。福利厚生費については人数の変動等により、B型肝炎予防接種経費等で減額がございました。研修研究費につきましては研修参加の減少による減額のあったものです。次の大科目、貸付事業支出につきましては、本年度2件、10万円の内、償還を受けております7万円を計上しております。2件うち1件については年度の後半での貸付けとなりまして、現在分割返済をいただいております。3万円については償還が平成28年度へ繰り越しとなっております。こちらにつきましては後ほどご説明いたします「その他の活動による収支」にて計上を行っております。次の大科目、助成金支出については町内福祉活動及び声かけ見守り活動、高齢者除雪サービス事業実施自治会への助成金、町内福祉団体等への助成金として、決算額194万2千円となりました。続いてその他の支出として、受託事業及び訪問介護事業の過年度未収金の精算処理等として計8万7,570円となりました。以上の支出を合わせ、経常活動による支出計(2)については決算額1億1,457万7,367円となるものです。事業活動収支差額につきましては、先ほどの事業活動収入(1)との差額となり、決算額478万5,046円となるものです。施設整備等による収支については収入、支出共にございません。下から1段目、その他の活動による収支のうち、長期貸付金回収収入については、平成24年度の応急援護資金貸付金の未償還分2万6千円について、平成27年度に償還を受けたものです。3ページをご覧ください。長期貸付金支出については、平成27年度の応急援護資金貸付金のうち、年度内に償還のない3万円について、長期貸付金として次年度に繰越を行うものです。この繰越となりました貸付金については貸付時の計画のとおり分割による償還を受けており、平成28年5月に全額償還となっております。次の大科目、積立資金支出については、現在保有している各積立資金の利息について、元金継続の定期としておりますので積立処理を行ったものです。以上の収支を合わせ、その他の活動資金収支差額(9)については決算額△6,058円となりました。予備費については計上がなく、下から3段目、当期資金収支差額合計(11)については決算額477万8,988円、前期末支払資金残高2,941万4,374円と合わせ、当期末支払資金残高については決算額3,419万3,362円となるものです。以上で資金収支計算書としてご説明を行ったのですが、本年度につきましては、人件費の細部科目等において、最終予算額と決算額に開きの出た科目及び、予算を超過して支出を行っている科目がございました。本来であります適正に補正を行うべきところ、補正集計時の見積りの甘さがありましたこと誠に申し訳ございませんでした。平成28年度以降につきましては、適正な処理と行なうよう改善を図って参ります。4ページから17ページにつきましては内訳としてサービス区分ごとの資金収支計算書を載せております。なお、資金収支計算書の備考欄につきましては、文字数の制限もあり、一部省略して記載を行っている部分がございます。1ページから3ページの総括表では各サービス区分の頭文字として、法人運営本部サービス区分については、法律の「法」若しくは「法人」、訪問介護サービス区分については訪れるの「訪」若しくは「訪問」、通所介護サービス区分については通うの「通」もしくは「通所」、生活支援ハウスサービス区分については、片仮名の「ハ」若しくは「ハウス」として記載しております。その他、区分ごとの資金収支計算書も含め、日付の日自由の自で日自として記載しておりますものは受託事業サービス事業の中の日常生活自立支援事業、アルファベットでVr(ブイアール)として記載しておりますのは「ボランティア」の略としております。続いて18ページから28ページについては事業活動計算書及び明細書を記載しております。こちらにつきましては内容重複となりますので説明については省略いたします。お時間のある時にご覧いただきたいと思います。ページが大きく飛びまして、29ページをご覧ください。まず上段にあります流動資産および流動負債についてです。左側、流動資産については預金3,478万8,392円、事業未収金846万3,820円、前払金5万5千円の合計となり、4,330万7,212円となります。前払金については、平成28年度に係る通所介護事業、生活支援ハウス事業の施設サービスに係る保険料の前払い分となっております。続いて、右側、流動負債として、事業未払金305万2,818円、未払い費用430万6,787円、預かり金、1700円、職員預かり金175万2,545円を合わせ、911万3,850円となります。この流動資産から流動負債を差し引いた額が先ほどの資金収支計算書の当期末支払資金残高と同額の3,419万3,362円となります。続いて、左側中段、固定資産については、決算額1,347万3,161円となります。内訳といたしましては、基本財産から介護サービス事業積立金となります。本年度については固定資産の新規取得は行っておらず、減価償却、応急援護資金に係る長期貸付金の変動、積立金の利息の積み立て分という動きとなりました。続いて、右側、純資産の部です。基本金から介護サービス事業積立金については、左の積み立て資産と同額での計上となります。次期繰り越し活動増減差額については決算額3,640万1,674円となり、純資産の部の合計が4,766万6,523円となるものです。こちらは30ページの財産目録の際下段と一致するものです。29ページ下段、右側、負債及び純資産の部の合計が5,678万373円となるものです。31ページについては参考として固定資産のみ記載したものの、32ページについては決算報告書を記載しております。33ページから35ページについては法人全体としての注記を記載しております。会計方針等の変更、基本財産の変更等は行っておらず、34ページの9番固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高の推移となっております。こちらにつきましては貸借対照表及び財産目録の動きと重複となりますので説明は省略いたします。以上で簡単ではありますが、平成27年度収支決算の説明とさせていただきます。

議長 ～ 承認第2号の説明が終わりました。ここで、監事より監査報告を受けます。

岩井監事 ～ 只今の資料のですね32 ページなります。社会福祉法人興部町社会福祉協議会の定款第13条の第2項の定めるところによりまして、平成27年度の業務執行状況及び財務状況について会務の開催毎、あるいは四半期毎の定期監査を実施したところでございます。決算監査につきましては先月4月28日に実施し、報告書のとおり経理の内容は適正に処理されておることを認め、ここにご報告を致します。監事 岩井正、同じく監事 山下栄。

議長 ～ ありがとうございます。それではこれより質疑に入ります。質疑ございませんか。

評議員一同 ～ ありません。

議長 ～ 異議なしと認め討論を終結します。それでは承認第2号の採決を行ないます。承認第2号について原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

評議員一同 ～ （ 挙手 ）

議長 ～ 評議員総数の過半数の賛成を確認いたしました。よって承認第2号は原案のとおり可決されました。続きまして、選任事項に入ります。選任第1号「理事の選任について」を議題とします。提案者の説明を求めます。事務局より説明をしてください。

事務局長 ～ 選任第1号「理事の選任について」説明します。別紙の4と書かれた資料をお手元にご用意いただければと思います。4月22日付けでボランティア団体選出でありました蘇武里恵子理事より辞任の届けが提出されました。定款第10条第1項「理事は評議員会において選任し、会長が委嘱する。」、それと定款細則第13条、欠員の補充の条項では「理事の職務の重要性から、1名でも欠員が生じた場合には速やかに補充するものとする。」の規定により、評議員会においての選任をお願いするものでございます。役員の選任については各種団体からの選出母体があることから、そのことを踏まえまして櫻木会長より説明を致します。

櫻木会長 ～ 私からは説明というよりお願いになるかと思います。只今、事務局より説明がありましたようにボランティア団体から選出されておりました蘇武さんが辞任をされました。そのことによりまして私ども規則に基づきまして選出区分でありますボランティア団体さんに理事1名の推薦をお願い致しましたことから、推薦されましたお名前が挙がっております。評議員の皆様方には選任規程に基づいていることをご理解いただきまして、大変恐縮ではございますがボランティア団体から推薦されている理事1名の名前をここで挙げさせて頂きたくお願いを申し上げます。皆様方のご意見を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

議長 ～ 只今、選任第1号についての説明が終わりました。これより質疑に入ります。何か質疑ございませんか。

木下評議員 ～ 理事会でいろいろご検討されたんですよね。

櫻木会長 ～ 理事会で協議するというよりも、報告はしております。選任は評議員会で選任することになっておりますので、皆様方のご承認をお願いしたいと思います。

木下評議員 ～ お名前は挙がってるんですよ。

櫻木会長 ～ 挙がってます。選出母体がボランティア団体ということになっておりまして、理事会で良い悪いとかの協議をすることではないんですよ。

議長 ～ 他に何かございませんか。

町田評議員 ～ 名前を挙げてください。

議長 ～ それでは社協会長よりお名前を挙げてください。

櫻木会長 ～ わかりました。それではですね、私から申し上げさせていただきます。選任区分でありますボランティア団体からですね推薦をいただいております方は、配食ボランティアつくしんぼうの旭町、武田富男さんでございます。どうぞご審議いただきましてご決定下さいますようお願いを致します。

議 長 ～ ただいま選任第1号についての理事1名についての案について会長より説明をいただきました。何か質疑ございませんか。

評議員一同 ～ 異議なし。

議 長 ～ 異議なしと認め討論を終結します。それでは選任第1号の採決を行ないます。選任第1号について原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

評議員一同 ～ （ 挙手 ）

議 長 ～ 評議員総数の過半数の賛成を確認いたしました。よって選任第1号は原案のとおり可決されました。これで本日ご提案のすべての議案が終了いたしました。皆様のご協力をいただき議長役目を無事に果たすことができました。これで議長を退任させていただきます。大変ありがとうございました。  
（議長退任 ～ 評議員席に戻る）

事務局長 ～ 本日議長の大池様、スムーズな議事進行をいただきまして誠にありがとうございました。あらためまして議長の大池様に拍手をもってお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。それでは、会議終了に際しまして、興部町社会福祉協議会、櫻木会長よりご挨拶いたします。

櫻木会長 ～ 皆様方には大変お忙しい中ご出席をいただきまして、議案の審議ご決定いただきましてありがとうございました。堀井課長、松田課長さんには最後までご臨席いただきまして誠にありがとうございました。社協の事業も新年度が始まったばかりでございます。これから事業を盛り上げていかなければならないわけでございます。地域福祉を担う社協と致しまして、評議員の皆様方のご協力をいただき、皆様方の声を社協運営に反映できるように努めて参りたいと思っております。どうぞ今年度もよろしくお願いを申し上げまして挨拶と致します。本日は大変ありがとうございました。

閉 会

平成28年 5月27日  
午後2時 20分 閉会

以上、記載の記録に相違ないことを認め、ここに署名捺印いたします。

社会福祉法人 興部町社会福祉協議会

議 長 \_\_\_\_\_ 印

(議事録署名人) 評 議 員 \_\_\_\_\_ 印

(議事録署名人) 評 議 員 \_\_\_\_\_ 印